

学習指導要領		都立千歳丘高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	・ 事前に与えられた情報、絵、写真などを参考にして、また事前にほとんどヒント（情報等）を与えられないで英文を聴き、概要を把握することができる。 ・ A L T（ネイティブ）のいったことに対し、聞き取れなかった内容に対して、ジェスチャーや様々な情報を元に相手の話の内容を推測することができる。 また、CD等音声教材によるリスニングで、聞き取れない部分が多くあっても、キーワードを読み取り、大意をつかむことができる。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読を行う。	・ 単語のテキスト、英和辞書を利用し、高2の標準的レベルより1段階平易な英文から始め、徐々に高の標準レベルの英文のポイントや概要を推測することができる。 ・ 500～600 字程度の平易な英文であれば、不明な語句があっても、前後関係から意味を推測することができる。 ・ 教科書の英文の中で難解な部分の大切なポイントを教師の説明を聴き、十分に理解することができる。 ・ 英文の表面だけでなく、行間に含まれた奥の意味を理解できるようにする。
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	・ A L Tからの質問や音声教材からの英文の内容に関する質問に対し、Y E S／N Oはもとより、自分の考え、判断を適切な語句を用いて答えることができる。 ・ 日本語とは違う英語のリズムやイントネーションを適切に使って発音したり、話したりできる。

	学習指導要領	都立千歳丘高校 学カスタンダード
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	- 適切な語や表現がすぐに思い浮かばなくても、早いタイミングで別の簡単な、あるいは適切な表現に言い換えることができる。 - 自分の興味のある分野や、自分に関係の深い事象について意見をしっかり述べることができる。 - 高2レベルの単語（使用している単語テキストの役8割）について正しいスペルで書くことができる。 - 決まり文句や慣用表現を正しく使って英文を描くことができる。 - 授業で既習の語句、表現、文法事項を適切に用いながら、標準的な英作文ができる。 - 適切な表現が浮かばなくても、別の表現に書き換えたり、他の言い回しを用いて自分の考えや自分に関係する事柄を書き表すことができる。

